

公益社団法人立川市シルバー人材センター 平成29年度事業報告

I 平成29年度の運営概況

平成29年度の運営方針

「第2次中期事業計画の達成に向け 事業の拡大と地域貢献に取り組むシルバー人材センター」

立川市シルバー人材センターの平成29年度は、第2次中期事業計画の初年度として、課題の解決と数値目標の達成に向け、「普及啓発と会員増強」、「シルバー人材センター等労働者派遣事業など就業機会の開拓・確保と適正就業の確保」、「地域貢献活動の促進」、「安全対策基本計画及び安全就業基準の遵守」、「第2次中期事業計画の達成に向けた取り組み」の5項目を活動目標に掲げ、さまざまな課題への取り組み、新たな施策を検討・実施を進めてまいりました。

具体的な活動内容は、「II 事業活動報告」に詳しく記載しておりますが、センターの事業の拡大のために最も重要な施策である「会員増強」について、入会案内パンフレットの市内全域配布、市広報やホームページを通じた入会案内、地区別入会説明会の開催、就業体験講習の実施などに取り組んでまいりました。また、28年度に続き事故件数減を目指し、転倒予防講習や交通安全講習会などを通じて自己防止啓発を進めてまいりました。

その結果、

総契約高	9億1,646万余円	前年度比	0.03%	31万余円増
就業実人員	1,205人	前年度比		9人減
就業率	78.0%	前年度比		2.3ポイント増
会員数	1,544人	前年度比		59名減
傷害及び賠償責任事故	22件	前年度比		3件減

となり、契約金額は引き続き9億円を超える成績をあげ、また事故件数も減らすことができましたが、会員数は28年度に続き大きな減少となってしまいました。

役員及び事務局では、2年連続の会員数減少を深刻な課題ととらえ、会員の皆様の協力を得ながら、広報のあり方、ホームページの活用、派遣事業の実施、就業メニューの開拓などへの取り組みを強化していくため、検討を進めております。

最後に、29年度も、会員の皆様が就業と「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を主とした地域貢献活動において、センターの信用と信頼を維持するべくご協力・ご参加いただくことに感謝申し上げますとともに、今後の会員増強や事業の拡大への会員の協力と参画をお願い申し上げる次第です。

以下、活動計画の項目別にその活動概要を報告いたします。

Ⅱ 事業活動報告

1 普及啓発と会員増強

(1) 入会案内パンフレットの市内全域配布の実施

今年度は、4月・7月・9月及び12月に、センターの概要、地区別入会説明会案内や就業体験講習開催案内等を記載した入会案内パンフレットの市内全域配布を実施しました。

(2) 地区別入会説明会や案内会などの開催

毎月の本部事務所開催の入会説明会のほか、入会案内パンフレットの市内全域配布に合わせ、地域学習館等を利用した地区別入会説明会を開催し、入会促進の一助としました。

毎月開催	本部事務所	26回 (2月・3月のみ2回開催)
地区別開催	学習館ほか	16回
女性対象	学習館ほか	3回

(3) 女性会員増強月間及び普及啓発活動月間の活動

7月を新たに女性会員増強月間に、10月を前年度同様普及啓発活動月間に設定し、入会案内パンフレットの市内全域配布、「シルバー広報の日」のパンフレット配布や地域貢献活動などの市内統一活動を実施し、入会促進・事業案内の一助としました。

(4) 定年退職予定者等向けの広報活動

シルバー第6ブロック(15センター)共同の会員増強施策として、ハローワーク立川に対し入会促進ポスターの掲示と入会案内リーフレットの配架を依頼しました。
(10～11月)

(5) その他の広報活動に向けた検討

センターの事務処理システムと連動した入会案内WEB、センター紹介動画の作製、センター主催イベントの開催などについて広報部会で検討を行い、紹介動画の作製やイベントの開催は、平成30年度に迎える設立40周年に合わせて取り組むこととしました。

(6) その他の普及啓発活動

- ① 市民マップ(平成30年3月作製)への広告掲載
- ② 市営葬儀説明会を毎月1回斎場で開催したほか、学習館等を利用し出張説明会を開催しました。
(11月 計4回)
- ③ 東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の助成事業である「就業体験講習」により、センター未入会者を対象として、当センター羽衣ワークセンターを会場とした植木剪定講習会を開催し、事業紹介・入会案内の一助としました。
(参加者 23名)

- ④ 会報「シルバーだより」において、会員増強に対する会員のロコミでの協力を呼びかけました。

2 「シルバー人材センター等労働者派遣事業」など就業機会の開拓・確保と適正就業の確保

(1) 事業紹介パンフレットの配布やホームページの活用による就業機会の開拓・提供

市内開催のイベント時や「シルバー広報の日」に事業紹介パンフレットを配布するとともに、前年度に新規受託した「介護予防・生活支援総合事業」の拡大、清掃作業などの新規受託に努めました。また、役員による発注者訪問を年2回実施し、就業職場の確保、信用維持に努めました。

(2) 「シルバー人材センター等労働者派遣事業」の実施による就業機会の拡大

東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)が実施する派遣事業に「立川派遣事業所」として登録し、29年度は1件の派遣の仕事を受注しました。

受注内容 電話対応及びデータ入力業務 女性2名就業

(3) 未就業会員の現況把握と経験・スキル等「人材データ」の充実

- ① 「就業開拓・開発担当」による電話連絡、未就業会員現況調査の実施等により、未就業会員の現況把握を行いました。
- ② 本部事務局で毎月1回、砂川分室で隔月、理事による総合相談窓口を開設し、未就業会員からの就業相談に対応しました。(利用件数 19件)
- ③ 東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の人材データバンクに登録し、会員の経験就業機会の拡大の一助としました。

(4) 適正就業の確保のための職場巡回等定期的な調査・確認

東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の適正就業巡回指導の結果に基づき、契約書類等の内容修正などに取り組むとともに、新規受託や受託職場においては職場環境・契約内容の確認などを行い、適正な請負契約の確保に努めました。

(5) 就業基準の見直しの検討

現在の会員への就業提供状況に基づき、就業年齢のガイドライン設定要綱など就業基準のあり方について、見直しも含めた検討を行いました。

(6) 事業の新規開発・再編に向けた情報収集・調査研究の実施

平成30年度以降の新規受託予定の業務や今後受託を目指す職種に関して、他センターへの調査、情報収集などを行いました。

3 地域貢献活動の促進

(1) 「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」の推進

地域貢献活動の一層の促進のため、引き続き多くの会員の参加協力のもと、市立全小学校で低学年児童の下校時の安全見守り活動を実施しました。また、総務部会及び地域班を中心として参加協力会員の拡大に取り組み、特に就業期限更新時には、未参加就業会員への啓発のため参加要請の文書を送付しました。

(2) その他の地域貢献活動

ファーマーズクラブが農業支援活動及び地域の保育園の芋ほり会への協力を行ったほか、「たちかわ楽市」へ出店しました。また、各地域班において、「シルバー広報の日」の統一活動として登校時に安全見守りやパトロールを実施したほか、清掃活動、防災・防犯パトロール、自治会や福祉施設などの催事など地域活動への協力も行いました。

4 安全就業の確保と安全意識の啓発

(1) 就業会員個々の安全目標の設定

就業会員個々に安全目標の設定を呼びかけ、会員の事故防止意識啓発を目指しました。

(2) 定期的な安全ニュースや啓発リーフレットの配布

立川警察署や東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)から提供された事故情報や事故防止啓発リーフレットを職群班や地域班で配布し、安全意識の啓発に努めました。

(3) 安全就業強調月間の設定、安全管理推進委員会委員による職場訪問

7月及び12月を「安全就業強調月間」に設定し、職群班・地域班を通じて月間事故0を目指した呼びかけを行うとともに、安全管理推進委員会委員が職場を訪問し、安全チェック表に基づく職場の安全環境の確認を行いました。

(4) 安全関係研修の充実

① 交通安全講習会の開催

交通安全に対する意識を高めるため、立川警察署交通課交通総務係係官等を招き、「高齢者の交通安全」の講義を行いました。

10月25日	女性総合センター・アイム	参加人数	91名
--------	--------------	------	-----

② 転倒予防講習会の開催

「いきいき立川出前講座」を活用し、体力維持や健康管理意識の啓発を目指して、地区別の講習会を開催しました。

11月29日	女性総合センター・アイム	参加人数	38名
--------	--------------	------	-----

11月30日	上砂会館	参加人数	40名
--------	------	------	-----

12月8日	柴崎学習館	参加人数	26名
-------	-------	------	-----

③ A E D操作講習会の開催

警備会社に委託し、管理業務就業会員を対象にA E Dの操作方法を確認する講習会を開催しました。

2月19日 本部事務所2階会議室 参加人数 45名

④ 自転車シミュレータ交通安全教室の開催

東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)を通じて「自転車シミュレータ交通安全教室」を開催し、自転車乗車時の注意喚起と転倒予防啓発を行いました。

8月8日 本部事務所2階会議室 参加人数 26名

⑤ 関係機関主催の安全就業に関する会議・研修への参加

第6ブロック安全就業推進員連絡会で、安全就業に関する情報収集や調査研究を行うとともに、東京都シルバー人材センター連合等が主催する安全研修や会議に安全担当理事や安全管理推進委員会委員が参加しました。

(4) 安全就業パトロール指導員の巡回指導

当センターの就業中の安全対策や安全管理体制の確認のため、東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の安全就業パトロール指導員の巡回指導を受けました。(11月30日)

(5) 安全啓発グッズの配布

就業会員や「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」参加協力会員に対し、夏季には熱中症予防のネッククーラーを、冬季には感染症予防のマスクを、職群班や地域班を通じ配布しました。

5 第2次中期事業計画の達成に向けた取り組み

計画初年度として、経営会議が重点項目を抽出し、総務・事業・広報の各部会に対し具体的な検討を指示しました。

III 組織活動

1 理事会

経営会議、総務部会・事業部会・広報部会をはじめ、安全管理推進委員会や就業決定会議等の活動を推進するとともに、理事会・事務局の緊密な連携のもと、活動計画を実施し、目標の達成に努めました。

(1) 経営会議

代表理事・業務執行理事による経営会議を開催し、適正な運営と執行管理に仕組み、定款の定めに基づき年2回、理事会に対し職務執行に関する報告を行いました。また、必要に応じて総務・事業・広報の各部会長の出席を求め、事業の進捗状況の確認や施策の検討などを行いました。

(2) 総務部会

「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を主とする地域貢献活動の円滑な実施と参加協力会員の拡大に向けた取り組みを進めるとともに、入会説明会・新入会員研修会の内容充実、総合相談窓口の充実に努めました。また、地域貢献活動参加会員の熱中症予防・感染症予防及び防寒のグッズの配付を行いました。

(3) 事業部会

就業開拓・開発・提供担当職員と緊密に連携し、就業開拓、未就業会員の現況把握、職群班の自主的就業管理体制の充実、適正就業の確保などに取り組みました。特に29年度は、就業会員全員を対象とした「就業会員悉皆研修」を主催し、事務局元職員を講師に招き、センター会員としての意識の啓発や接遇の確認を行いました。

就業会員悉皆研修 10月18日～2月9日 計27回 参加者889名

(4) 広報部会

センターの普及啓発と会員増強のための施策を検討し、普及啓発活動月間の設定や入会案内パンフレット等の市内全域配布、ホームページの充実、市広報への定期的な入会説明会日程等の掲載、会報の発行などに取り組みました。

2 地域班活動

地域班班長会議の開催などを通じ、総務部会・事務局と緊密に連携して、地域会員の相互交流の推進と「小学校児童下校時通学路安全見守り活動」などの地域に根ざした「地域貢献活動」の実施に取り組みました。

3 職群班活動

お客様からの信用・信頼を維持するため、「共働・共助」の理念に基づく自主的就業管理体制の充実とともに、事業部会と緊密に連携し、適正就業の確保、研修の充実、安全就業の徹底に取り組みました。

4 委員会活動

会報編集委員会を設置し、会員への情報提供・運営状況報告などを目的とした会報「シルバーだより」を年4回(4、7、12、1月)発行しました。

5 会員の福利厚生活動

会員の健康管理・安全確保を目的に、安全管理推進委員会と連携して、熱中症予防・感染症予防のグッズを配布するとともに、東京都シルバー人材センター連合を通じて配布された埼玉西武ライオンズ野球観戦招待券を配布しました。

また、会員の自主的福利厚生・親睦交流団体である会員互助会の運営を支援するため、28年度収益の一部を会員互助会への助成に充てました。